



む け 無 憂 華

浄土真宗本願寺派正念寺
常陸太田市久米町20-1
発行：正念寺護持会

電話：0294-76-2058
FAX：0294-76-0169

パ リ オ リ ン ピ ッ ク を 見 な が ら

この原稿を書いている今、パリオリンピック開会式から1日が過ぎました。これから2週間にわたってオリンピックが行われます。それが終わると、パラリンピックが始まります。こういう大会でつきもの話が、金メダルを何個取ったか？という話題です。

今大会でも角田夏実さんが、日本選手金メダル第一号とマスコミを賑わしています。勿論長いこと努力してきたの金メダルですから、これはとても素晴らしいことだと思います。私も角田選手が金メダルを取った試合は、興味を持って見ていました。でも、それ以上に興味のある試合がありました。それは3位決定戦でした。準決勝戦の角田選手の相手は、タラ・バブルファトと言う選手でした。この選手が、少なくとも素人目には、不可解な3枚目の指導を言われ、反則負けになってしまい、3位決定戦に挑むことになりました。

過去には、空かし技を知らない審判によって結局負けてしまった選手もありました。審判の技量は、それぞれ違うといえど、きちんとしたルールの下審判になっているのでしょうから、選手が納得のいく判定を出してこそその審判では無かろうかとは思いますが、また、そうでないとそれまで努力してきた選手が気の毒でしょう。

柔道の試合で、どれだけ説明する必要があるのか無いのかわかりませんが、それまでの努力が審判の判定一つで終了してしまうわけですから、選手が納得のいく説明をするとか、あるいはせつかくビデオ判定が導入されているわけですから、その活用方法も他にもあるのでは無いかと思ってしまう。

審判の役割とは、ルールに従って競技を円滑に進めるものなのだろうと考えますが、やはり人間の行うものですから誤審も起こりうるわけです。その為に、それを防ぐ方策を考え、新たな方法が導入されたりもします。空かし技を知らない審判の誤審によってビデオ判定が導入されたように、もしかしたら今回のオリンピックでの審判への不信感を払拭するために、新たな方法を模索するかもしれません。そしていつか、全ての審判とアスリートが、納得のいく判定方法が見つかるといいなと思ってやみません。そうやってこそ、周りの人たちと共に切磋琢磨してきたアスリートの努力が、本当に生かされてくるのでは無かろうかと思えます。



お
釈しゃ
迦か
様さま
の
ご
生しょう
涯がい

(第7回)※仏教の教えを開かれたお釈迦様(仏陀)のご生涯を書いていきます。

お釈迦様の生涯 アングリマーラの話(その1)

アングリマーラとは、後に付けられたいわゆるあだ名であり、本名はアヒンサカと言いました。コーサラ国のシュラバスティー(舎衛城)のバラモン出身で、12歳の時よりパーラカシー村のマニー・ヴァードラというバラモンに師事していました。このバラモンには500人の弟子がいたと言われていますが、アヒンサカはその中でも特に体力があり、また智慧が優れ容姿も端麗であったと伝えられています。

そしてある日の事、バラモンの妻がアヒンサカを誘惑して言い寄ってきたのですが、彼(アヒンサカ)は「師は父親と同じです。裏切る事など、できるはずがありません」と答えて、その誘いを斥(しりぞ)けました。

すると、その妻は逆恨みをして、自分で衣服を破り、帰って来た夫(師:ヴァードラ)に「アヒンサカに犯されました」と嘘をついて泣いたそうです。怒ったヴァードラは、報復のためにアヒンサカに、間違った教えを与えることにしました。

「アヒンサカよ。お前の修行完成の時がきたので、最後の秘法を伝授しよう。よいか、お前が真のバラモンになる道は、明日より、通りで出逢った人を順に殺して、その指を切り取り鬘(かづら)(首飾り)を作り、100人(あるいは1000人と言う説)の指が集まったとき、お前の修行は完成して、お前も殺された者共も天界に至るだろう」と言って一本の剣を与えました。

アヒンサカは、これを聞いて驚き、そして苦悩しましたが、師には逆らえず、その嘘を真に受けて、とうとうシュラバスティー(舎衛城)の町で一人の通行人を殺害してしまったのです。一人を殺してしまうと、その後の彼は正気を失ってしまい、次から次へと町の人々を殺し続けました。

人々は、アヒンサカをアングリマーラ(指で作った首輪と言う意味)と呼んで怯え、徐々に付近の村には人も住まなくなっていました。人々は、国王に殺人鬼アングリマーラの恐怖を訴え出たのですが、追討の兵士の手をのがれて、アングリマーラは殺害を続けていました。

その頃、シュラバスティー(舎衛城)の祇園精舎に滞在していたお釈迦様は、このうわさを聞き、ある日托鉢を終えて一人でニガーマという殺人鬼の出没するという地域に出掛けていきました。

アングリマーラが出るという地域に向かっているお釈迦様を見た人々は、口々に「そちらに行っては危険です。アングリマーラという殺人鬼がいます」と言って止めようとしたのですが、お釈迦様は黙って歩いて行きました。

アングリマーラは、一人の沙門が来るのを見て驚きました。「この道は、俺を恐れて隊商の一団ですら護衛の兵士をつけて来るではないか。それらの者も皆この俺の手にかかって倒されたのだ。それなのに一人でやって来るとは、一体あれは、何者なのか」と一抹の不安が心をよぎったのですが、アングリマーラはいつものように剣を手にして、お釈迦様のあとを追いました。



(次号へ続く)



親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

去る4月28日に行われた『築地本願寺親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年慶讃法要』への参拝、並びに6月22日に行われた水戸市民会館大ホールでの『茨城県親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年慶讃法要』への参拝、有り難うございました。

築地本願寺の法要に関しては、当初27日と予定して頂いていたところ、人数がある程度集まるのを待って申し込みをしたところ既に満席になっており、28日への急な変更をさせて戴きましてご門徒の皆さまには大変ご迷惑をおかけしながらも、7名で法要にお参りしてまいりました。



また、水戸市民会館大ホールにおいて行われた法要に関しましては、バス・自家用車・公共交通などで行かれた方を含めて、29名の方に参加して戴きました。住職並びに副住職は、法要の準備や出勤もあって、参加された方々と一緒に行くことが出来ずに申し訳ないことでした。更に、当日坊守も声が出なくなっていたこともあり、ご門徒の皆様にはご心配もおかけ致しました。現在は、普通に声も出ておりますので、どうぞご安心下さい。



水戸市民会館大ホールにおける慶讃法要に関しましては、法要の部・公演の部・コンサートの部とそれぞれ別になりますが、DVDも制作しておりますので、映像を見たい方がいらっしゃれば、寺までご連絡戴ければお貸しすることが出来ますので、ご遠慮なく仰って下さい。

お寺でライブ！？ 落語会のご案内

昨年に引き続き真打ち『柳家平和』師匠による落語会を開催致します。二つ目時代の柳家かゑる時代から数えて、3回目の来寺になります。昨年同様前座の『柳家ひろ馬』さんとの二人会になります。なお、ひろ馬さんは、拙寺の若坊守の同級生にもなり、常陸太田市出身の落語家さんですので、これからは是非皆さんも応援して下さい。

日時 10月14日 午後2時から
場所 正念寺本堂にて
木戸銭 2,000円
人数 40名



昨年の落語会の様子



柳家平和師匠



柳家ひろ馬さん

感謝録

本年月上旬に上げて頂きました寄付金を報告させていただきます。大変有り難うございました。

小坏家永代経として

金参拾万円 小坏 一恵様

※ 記載されていない方がありましたら、ご連絡ください。

清掃奉仕作業参加者 令和6年 2月27日(火)

常陸太田市

井坂 豊子様 井坂 秀子様

井坂 ヨシエ様 坂内 愛子様

田口 卯貴様 永山 正文様

吉崎 渉 様

那珂市

箕川 清 様

仏具磨き奉仕参加者 令和6年 2月27日(火)

常陸太田市

井坂 照雄様 井坂 ヨシエ様

井坂 友之様 猪口 治三様

吉崎 渉 様

那珂市

橋本 貢 様 安 二郎様

これからの行事予定

8月16日(金)11時～	久遠廟法要
9月 8日(日) 9時半～	聞法会
9月22日(日)10時～	彼岸会法要
11時～	久遠廟法要
10月 8日(火) 9時半～	聞法会
10月14日(月)14時～	落語会
10月29日(火) 9時～	清掃奉仕
11月 8日(金) 9時半～	聞法会
11月12日(火)13時半～	仏具磨き
11月18日(月)13時半～	報恩講法要
11月19日(火)13時半～	報恩講法要
11月26日(火) 9時～	清掃奉仕
12月 8日(日) 9時半～	聞法会
12月24日(火) 9時～	清掃奉仕
12月31日(火)14時～	年越しの鐘
16時	位牌等炊上勤行



ホームページのご案内

正念寺のホームページでは、今までの寺報やちょっとした仏教の話、寺の縁起などもあります。浄土真宗本願寺派正念寺で検索すると表示されます。

スマートフォンなどからは、右記QRコードを読み込んで下さい。



また、ホームページからYouTubeの正念寺チャンネルへも行けますので、今までの花祭りコンサート等を是非お楽しみ下さい。

住職雑感

今年も暑い日が続いておりますが、ご門徒の皆様のご体調はいかがでしょう。この所は、毎年夏になると「いやあ今年も一段と暑いねえ」と言うのが挨拶代わりになってしまったような気がします。

私たちが子供の頃は、暑いって言ってもこんなに気温は高くなかったよね、と続きます。体感としては、完全にそう思っているのですが、実際はどうなのでしょう？

私が生まれた年(昭和31年)の7月・8月の平均気温を見てみますと、7月は21.9℃で8月は22.8℃です。昨年と同じ月を見ると、27.3℃と28.5℃ですので、あきらかに高いですね。最高気温の方は、昭和31年7月は32.1℃で、昨年7月は37.5℃となっています。これもだいぶ高くなっています。

実は、この統計を見ているとビックリしたのは、一日の最高気温で最も低かった温度なのです。昭和31年7月は、19.7℃なんです。因みに昨年7月は、27.8℃でした。そりゃあ暑いはずですよ。

地球温暖化と言う問題は、原因を単純に言うことは出来ないと思います。いくつもの問題が複合的に関わり合って起こっているものだろうと思うのです。しかし、だからといって手をこまねいているわけにもいかない。まず自分が何を出来るか、お互いそこから考えていくことが、最初の一步になるのではないのでしょうか。